



かねがさき

こんなに
大きくなりました！



カムバック
双子ちゃん

シリーズ④

子ども育成条例を制定
中学生議員 町政に鋭く斬り込む
議論白熱 11議員が町政を質す

紆余曲折2年半

子ども育成条例を制定

おらにも 町の声 言わせて

子どもの安心・安全のために

あさくら かずひろ
朝倉一裕さん(永徳寺)



ここ数年、幼稚園や小学校へ行ってみると、グラウンドにあった遊具が減っているのが目に付きます。先生方に尋ねたところ、劣化してしまって危険なので、使用禁止になっているとの話でした。

今回の子ども育成条例は、「金ヶ崎町の未来を担う自立する子どもを育成するために制定される」とのことです。この条例が、子ども達のための支援や育成の後押しとなり、安心、安全な施設が増える事と期待しています。

子育ても時代とともに変化

かしわ たえこ
柏 妙子さん(川目)



我が家には、小学校2年生の孫がおり、学校行事をこなすたびに遅くなりホッとしています。社会が豊かになり、子どもを取り巻く環境は複雑になっています。私の時とは違い、難しい子育てになってきているように思います。

今回の子ども育成条例をふまえ、地域、家庭の立場から、大切な子どもたちを、温かく見守っていきたくと思っています。そして、教育委員会には、是非、これまで以上に子どもに寄り添った施策や支援を期待いたします。

自分の目標を見つけるために

たかほし たすく
高橋 佐さん(長志田)



子ども育成条例を成功させる方法の一つとして、幼い時からいろいろ成功をした人や、さまざまな生き方をした人の話をしたり、本にふれさせることが大切です。そうすることで、このような仕事をしたい、このような人になりたいという思いを持ち、それが自分の人生の理想や生きる目標になっていくからです。12才はそのような目標を持ち、本気で向かう気持ちが出てくる時期です。家庭・学校・地域が一体となって、自分の生きる目標を見つけさせたいと思います。



未来に大きく羽ばたけ(金ヶ崎小学校卒業生)



元気な笑顔あふれる金ヶ崎

反対だ
阿部 隆一
保護者、学校、地域が一体になり子どもを育てることは賛成である。しかし、次のような理由で反対する。①条例が制定される、「推進計画」で教育委員会が6年生全員に賞状やメダルを授与する「励まし制度」が実施され、対価がないと努力しない子を育成する危険がある。②条例に明示しないで教育委員会の計画で実施することは、これまでの説明と大きく異なり、町民に不信を広げる可能性がある。町民懇談会などで広く町民の意見を聞いてから決めるべきである。③子どもに過大な期待を押しつけ、保護者・学校・地域に具体的な取組みを強制する条文は、全て削除又は大幅修正すべきである。



議場における採決

賛成だ
高橋 奨
わが国の国民は勤勉で高い道徳心を持っていた。

今、学校で先生だけでは対処できない諸問題があると報道されている。このような状況の中で、地域の人々も子ども達に日常から関わり、皆で育てることは必要なことである。小学生の頃から目標を持って努力する体験で、子どもは変わる。その子ども達を家庭、学校、地域及び町が認め励ますことが将来の大きな成長につながる。この条例制定に関する町民の協議は、2年半行われ、多くの意見を取り入れ、修正が加えられてきたものである。また、27年度は委員会を設置し推進計画を策定、28年度から条例を施行するとしている。以上のことから、条例案に賛成するものである。

金ヶ崎町子ども育成条例が提案され、賛成11・反対3の賛成多数で可決しました。地域社会全体で子どもの育成に関わる条例を作ろうと、平成24年9月に町教育委員会から「(仮称)児童表彰制度」が提案され、議論が始まりました。この制度には町民からの反発も多く教育委員会は、平成25年に町民による検討委員会を立ち上げました。町民懇談

会や教育懇談会、議員全員協議会での意見、検討委員会の提言等を踏まえ、最終案がまとまりました。子ども育成条例は、家庭、学校、地域が連携し、子どもの努力を認め励ますなど、町全体で子どもを育てていくことを理念に掲げています。

子どもは町の宝 見守り、励ましは町全体で

3月議会定例会は、3月3日から16日までの14日間の会期で開かれました。初日には、高橋由一町長が施政方針、千葉祐悦教育委員長が教育行政方針を述べました。

一般質問には、11議員が子ども育成条例や農業問題、まちづくりなどについて、町の考えを質しました。

町提出議案は、人事案件、条例案件、一般・特別会計補正予算10件、平成27年度一般・特別会計予算10件など41件で、すべて原案のとおり可決しました。

3月議会定例会

議会だより
かねがさき
No.114

目次

- 2~3 子ども育成条例を制定
- 4~5 予算審査特別委員会
- 6 議案審議
条例改正
- 7 補正予算
- 8~9 中学生議員
町政に鋭く斬り込む
- 10~21 一般質問
- 22 研修レポート
学びを生かす
- 23 どうなったあの提言
- 24 ぴかっとひかる人
シリーズ44



新診療所 29年度開所へ

新年度予算総額133億8460万円を可決

平成27年度予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置し、委員長に及川みどり議員、副委員長に佐藤千幸議員を選出。3月11日から16日までの6日間にわたり審査しました。

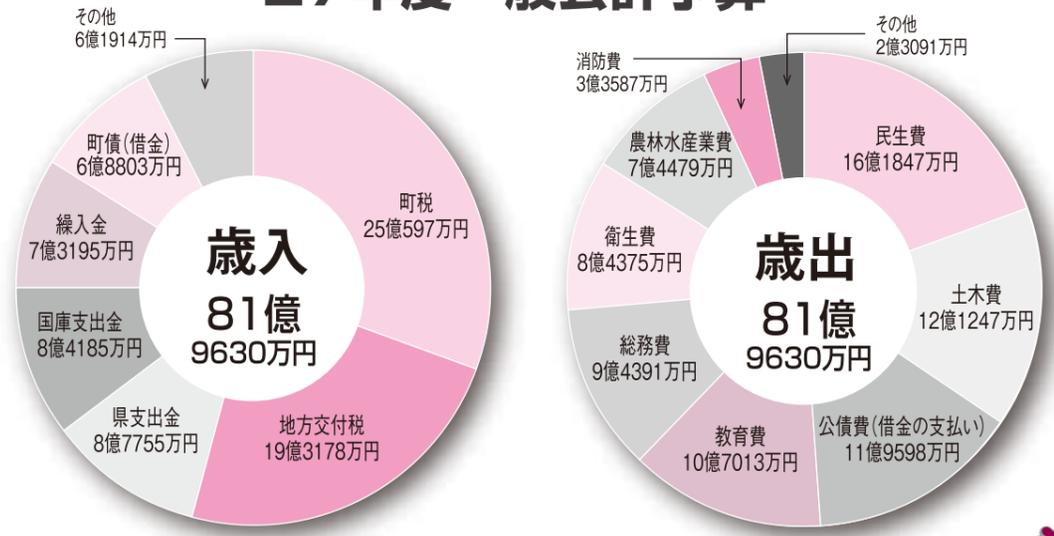
一般会計・特別会計・企業会計（水道）10会計、歳入歳出総額133億8460万円となりました。

一般会計は賛成13・反対1、他9会計は全員賛成で可決しました。

限られた予算 有効に活かせ

- 診療所** 阿部 隆一 委員
- Q** 診療所の設計者選定については、町としての計画を示したうえで委託すべきだ。計画は、また、開所予定は。
- A** 幼児から老人まで対応したユニバーサルデザイン、集の空間の確保、災害への対応等の条件を示す。複数社から企画を提案してもらい、業者を選定する。29年度の開所を目指す。
- 防災有線柱** 高橋 勇喜 委員
- Q** 防災有線柱撤去工事は27年度中に終わるのか。
- A** 廃電柱はあと903本残っている。27年度中に撤去を終えたい。農作業時期を避けて、春先と秋以降の作業を予定している。
- 線上げ償還** 高橋 藤宗 委員
- Q** 27年度プライマリーバランスの状況で、元金償還見込み額のうち繰り上げ償還を行わないのはなぜか。
- A** 財政健全化に向けて中長期財政計画の中で、毎年2億円前後の繰り上げ償還を26年度まで行うしてきた。財政見通しがある程度改善し、計画期間も満了したことから、27年度は様子を見ることとした。
- 就学指導委員会** 佐藤 千幸 委員
- Q** 小学校就学前の児童に適切な支援のあり方について検討するとしている。この判定・指導が、後々、大きな影響を及ぼすと思われる。
- 死亡牛保管** 巴 正市 委員
- Q** 死亡牛を県外に運搬するまでの間、保管する保冷库の設置状況はどうなっているか。
- A** 死亡牛は群馬県にあるが、現在のところ農家が運送業者に直接連絡し、運び出すまで農家保管となっている。一次集積するための保冷库は、県において設置場所を選定中である。
- 外国語指導助手** 有住 修 委員
- Q** 外国語指導助手派遣業務について、保育園から負担金を徴収するのか。
- A** 指導助手の現体制では、私立保育園へ週1回派遣することは物理的に難しい。私立保育園が、新たに外国語指導助手派遣業務を委託する際に要する経費の一部を、町が補助することで話が進んでいる。
- 死亡牛保管** 巴 正市 委員
- Q** 死亡牛を県外に運搬するまでの間、保管する保冷库の設置状況はどうなっているか。
- A** 死亡牛は群馬県にあるが、現在のところ農家が運送業者に直接連絡し、運び出すまで農家保管となっている。一次集積するための保冷库は、県において設置場所を選定中である。

27年度一般会計予算



及川みどり 委員長



佐藤千幸 副委員長

- 賛成** 千葉 和美 委員
- 平成27年度は、第9次総合発展計画において、計画していた事業を締めくくる重要な年度となっている。一方、地方交付税が大きく落ち込むなど財源不足が見込まれる。本予算は、国・県支出金や財政調整基金の各種基金の活用により財源不足に対応するとともに、普通建設事業費をほぼ前年並みに確保するなど、選択や集中により可能な限り第9次総合発展計画の推進に必要な予算が措置されたものと認められる。
- また、将来負担を確実に減少させることにも配慮し、財政健全化を推進するための対応がとられた内容となっている。
- 以上のことから、本予算に対し賛成する。
- 反対** 阿部 隆一 委員
- 項目ごとの採決なら大部分が賛成できる。しかし、次の理由により反対する。
- ①小学校に最低1人は正規の用務員を配置すべきである。また、地区生涯教育センターに最低1人の正規職員配置が不可欠である。少なくとも主任クラス以上の職員を配置し、住民が気軽に相談できる体制にすべきである。②新町誕生60周年記念事業として50周年記念事業の約2倍の2064万8000円計上している。60周年記念事業に異論はない。しかし町道整備を延期し、学童保育所の整備予算を見送っている中で大幅に計上している。③外国語教育推進事業で、保育園に指導員派遣費用の一部負担を求めている。「英語教育の町」は町の方針であり、全額町で負担すべきである。
- たいよう保育園** 山路 正悟 委員
- Q** たいよう保育園整備事業費補助金の使途は何を予定しているか。
- A** 受け入れ定員10名増を予定している。それに伴う増築費用を補助するものである。
- 青年会館** 梅田 敏雄 委員
- Q** 金ヶ崎町青年会館の所有者は誰か。
- A** 町所有物でない建物を、町費を使って解体するのかが。
- A** 金ヶ崎町青年会館管理運営委員会である。公益的団体が公益目的で建てたものであり、公費で解体することも止むを得ないとしたものである。
- 社会教育指導員** 千田 力 委員
- Q** 27年度から各地区センターの社会教育指導員は2名体制となる。どのような仕事を予定しているか。
- A** 地域づくりに係わる仕事を予定している。例えば、自治会連合会の事務、老人クラブ事務の手伝いなどである。資格は特にない。
- アスパラガス** 高橋 文雄 委員
- Q** アスパラガス販売額1億円突破に向けて、生産環境はどのようになっているか。
- A** アスパラ収穫祭の開催意義は。1億円突破に向けての計画目標は150戸、50haである。現在、105戸、30haを超えてきた。当初の転作奨励金目当ての栽培から、所得確保に向けた取り組みが進んでいる。40〜50代の専業農家や女性の勉強会参加者が増えている。
- 新町誕生60周年** 千葉 正男 委員
- Q** 新町誕生60周年記念事業の実施内容は。
- A** 総事業費2064万8000円を見込んでいく。
- アスパラ収穫祭** 阿部 隆一 委員
- アスパラ収穫祭は、即売を通じて消費者に金ヶ崎産アスパラを知ってもらうとともに、生産者の元気がも目的としている。
- 庁用車** 千葉 和美 委員
- Q** 庁用車の管理に係る有資格者の状況と、管理している車両は何台か。
- A** 安全運転管理者1名、整備管理者2名である。管理している車両台数は、消防車含みで86台である。

肝に命じる 平成27年1月5日議会事務局の仕事はじめ式。3人の職員を前に、議長、代表監査委員が年頭の訓辞。「新町が誕生して早60年、より町民に開かれた議会をめざして、健康に留意し職務に精励を」とは議長の弁。議員の信条「議員は、住人の幸福を願う政策の論議と活動こそ議会の本務であることをわきまえること」と改めて肝に命じた。

お花見も減塩食で 12月20日、中央生涯教育センターで「元気100歳プロジェクト推進大会」と「医療・健康を考えるフォーラム」が開催されました。健康運動指導士の梅田陽子さんは「桜の咲く頃にはからだが変わる」。継続は力なり。期待しましょう。金ヶ崎診療所の阿部俊和所長は「これならできる美味しい減塩」。だからと言って、食い過ぎはダメです。

介護保険条例を改正

保険料は所得に応じて10段階

基準は年額6万4000円

介護保険法施行令等の一部改正に基づき、当町の介護保険料の段階設定及び保険料率を改めるとともに、低所得者を対象とした保険料率の軽減を行うため、関係条例を整備したものです。

Q 基準額は6万4800円になると思うが、奥州市などの基準額はマスコ三報道によれば、年間6万円と発表されている。当町が奥州市よりも高くなるという理由は何か。

費が少ない、もしくは介護給付費に対して1号被保険者の人数が多いかの要因によるものと考ええる。

※1号被保険者65歳以上の高齢者

A 今回当町で設定した基準額と奥州市が設定した基準額との違いは、基本的には介護保険料については、見込まれる保険給付費の総額と1号被保険者の人数で決まる。

奥州市と当町とは人数が違つからだが、介護給付費や1号被保険者の割合が同率であれば同じ金額になると思う。奥州市が少ないという場合は、1号被保険者の人数に比べて介護給付

費が少ない、もしくは介護給付費に対して1号被保険者の人数が多いかの要因によるものと考ええる。



そ~れ! は~い、ボン みんな笑顔で健康長寿

消防団屯所を整備

辺地総合整備計画を変更

和光地区に関しては消防施設を建設する計画になっていましたが、震災復興等の建設需要の増加に伴い、資材、人件費の建設経費が高騰したことにより、事業費に変更が生じたため、総合整備計画を変更しようとするものです。

設等の除雪に支障をきたしているため、老朽化した除雪機械や消防団所の整備を図るものです。

和光地区は酪農を中心とする地域ですが、冬期間の積雪環境が厳しく、道路施設



いよいよ改築 和光地区消防屯所

補正予算 プレミアム商品券を発行

地方版まち・ひと・しごと創生事業

町では地元消費の拡大、地域経済の活性化、一部低所得者への生活支援を目的とした、「金ヶ崎町プレミアム商品券」を発行することになりました。

の商品券を配布するもので、低所得者の対象者として、町民税非課税世帯の中で、65歳以上の高齢者のみ世帯、ひとり親世帯、障がい者を扶養している世帯、生活保護世帯を考えているとしています。



平成26年度補正予算10件は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

人事案件に同意

人権擁護委員選任に、全員賛成で同意しました。



及川 洋子さん (新任)

昭和25年3月13日生
金ヶ崎町三ヶ尻川口田35番地2
任期 3年

固定資産評価審査委員に、全員賛成で同意しました。



及川 令子さん (新任)

昭和24年8月2日生
金ヶ崎町西根町裏24番地1
任期 3年

死亡牛対応に290万円

県南地域で畜産経営をする者が、自らの農場で死亡した牛を県外の化製場で処理するために要する、運賃等の負担軽減と処理の円滑化を図るため、290万円を補助することになりました。

A 東北油化で処理できないとなったことにより、農家で飼っている牛が死亡したとき、現在は群馬県に運んで処理している。一頭当たり、24ヶ月齢未満は1万2000円、24ヶ月齢以上は1万2800円補助する。負担割合は県3分の1、町3分の1、農協

都市公園管理費のうち、工事請負費が約2770万円の減額補正となりました。中でも、森山テニスコート人工芝張替工事が、予算に対して約40%の減額補正となりました。

A 降雪前に工事を行った後、雪が溶けたときに気づいた。業者とは雪が溶けた後に直すことで協議を進めている。工事請負費に影響はない。

異議あり！工事請負費

南側2面だ。補正額は、その水たまり面を補修した後のものか。

Q 1頭当たりの補助額はいくらか。また、死亡した牛はどこに運んで処理するのか。

は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

世界にはばたけ 1月9日、体育協会新年会。こんなに活躍していたんだ〜。全国、東北、県大会クラスでの上位入賞者の表彰。流した汗はウソつかない。流した涙は次への熱源。来年は岩手国体、5年後は東京オリンピック。世界にはばたくアスリートの出現を……。

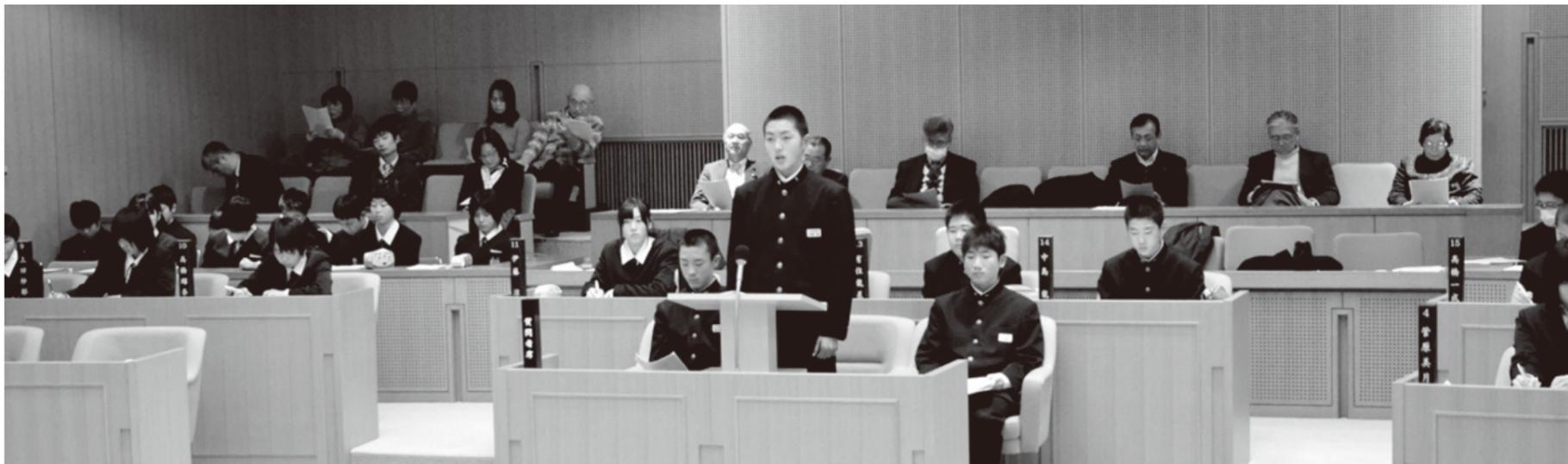
老いも若きも元気な金ヶ崎 1月7日、金ヶ崎町新年交歓会が、中央生涯教育センターで開催されました。スポーツや学芸に優秀な成績を取った児童・生徒が表彰されました。自分の能力を存分に発揮して、これからも挑戦を続けてほしいものです。また、町勢功労表彰・農業賞・農文化賞・伝承技芸名人位の授与も行われ、町の明るい未来が見えました。

中学生議員

町政に鋭く斬り込む

町政課題など18人が質問

第5回中学生議会が2月5日開かれました。生徒会役員18人が議員となり、6グループ構成でまちづくりなどについて、町当局の見解を質問しました。議長には阿部紗千さん（2年生）、副議長には有住龍星さん（2年生）が選任されました。



若い感性が金ケ崎町を変えていく

講評



若者の力が必要

教育委員長 千葉 祐悦

皆さんの若い視点での質問や将来を展望した率直な意見は、住みよい町づくりを進める上でとても参考になるものでした。

このことは、皆さんが、町づくりに関心を抱き、真剣に自分の考えや意見を集約して議会に臨んだ結果であると感じております。

金ケ崎町では、住民の方々の生活が豊かで快適なものにするために、一つひとつの課題を解決しながら、その実現に向けた取り組みを進めております。

しかし、そのことだけでは、住みよい町づくりは達成できません。その念願を果たすためには、今まで積み上げてきた実績を受け継ぎ、その歩みを止めることなく力強く進める若い人の力が必要です。

そして、豊かな町づくりに向けた夢のあるビジョンを思い描くことが出来る若い人材が確実に育ってくれることが不可欠です。

そのためにも、皆さんが今回の経験を今後の学校生活に生かし、金ケ崎町の大切な人材として大きく育ってくれることを期待します。

傍聴者の声

◆身近な質問が多く、提起された課題については、今後十分な対応を願います。（一般）

◆質問内容が良かったです。議員の態度も立派でした。この経験をこれからの生活に反映させていきたいと思います。（一般）

◆検討するという答弁、しっかりとチェックしていくべきです。中学生諸君の頑張りには拍手を送ります。（一般）

◆普段、自分が気づかないようなことに、役場の皆さんが気がついて、すごいと思いました。自分も学校でそういう存在になりたいです。（中学生）

◆昨年傍聴させていただきましたが、今回も緊張感が伝わってきました。この議会を通して町の活動を決めている議員達は、とても責任感があると思いました。（中学生）



千葉 瑞仁 議員
(2年・校外委員長)

Q 荒巻・東町線を工事する理由は。

町長 交通量が多く、通学路として危険である。六原地区の水田工事に合わせ拡幅する。

道路整備・交通安全



高橋 樹 議員
(1年・生徒会書記)

Q 道路幅が狭く危ない箇所の解決策は。

町長 道路整備は、交通量、緊急性などで優先順位を決めている。通行者はマナーを守ってほしい。



高橋 一帆 議員
(2年・部活動運営委員長)

Q 生徒が安全に横断できるように配慮してほしい。

町長 危険箇所に信号機等を要望している。下校時は見守りが不十分なので、関係機関に働きかけていく。



高橋 静香 議員
(1年・生徒会書記)

Q 通学路の街灯が少なく暗い。

町長 通学路の犯罪危険箇所に設置している。改めて洗い出しを行い検討する。

街灯



阿部 紗千 議員
(2年・生徒会会計)

Q スクールバスの停留所が暗い。

教長 停留所を街灯のある場所に変更できるか検討する。



高橋 世怜夢 議員
(2年・応援団長)

Q 交通安全のために、ライトや防犯ブザーを小中学生に配付を。

教長 これまで検討しなかった。中学校の新1年生にはクリップライトを配付している。



森 楓 議員
(2年・生徒会副会長)

Q 車道が広くなるような除雪方法は。

町長 ロータリー除雪車による拡幅作業や排雪・除雪を行っている。

除雪



有住 龍星 議員
(2年・生徒会副会長)

Q 通学路の除雪で改善された点は。

町長 除雪業者が歩道用小型ロータリー除雪機を購入した。これまでより倍以上効率アップした。



千葉 衣吹 議員
(2年・図書委員長)

Q スノーバスターズに頼るだけではなく、効率よく雪かきできないか。

町長 応援体制の構築をめざす。自治会に、県共同募金会の助成金で除雪道具の整備ができることを知らせている。



及川 真矢 議員
(2年・部活動運営委員長)

Q 町で産婦人科を設置できないか。

町長 町では難しい。近隣病院との連携で、妊娠・出産などの支援の充実に努めている。

医療・福祉



小野 彩 議員
(2年・保体委員長)

Q 緊急医療センター、耳鼻科、眼科がない。対策は。

町長 耳鼻科、眼科は検討する。救急センターは、近隣病院と連携し、スムーズに対応してもらおう。



小野 寺美優 議員
(2年・広報委員長)

Q 介護施設等のスタッフを増やす対策は。

町長 介護従事者は賃金が低く、人材確保が難しい。県と連携、協力して進める。



伊藤 尚輝 議員
(2年・学級委員長)

Q 金ケ崎町が合併しないメリットとデメリットは。

町長 メリットは町民の声を町政に反映しやすい。デメリットは国保事業など加入者負担が少し高くなる。

まちづくり



中島 龍 議員
(2年・生徒会長)

Q 町のPR活動をどう考えているか。

町長 アース君、パーラちゃんのPR活動やイベントを行っている。地域おこし協力隊も活動している。



内海らいら 議員
(2年・生徒会会計)

Q 観光案内板の設置状況は。

町長 3ヶ所設置している。伝建群地区に歩行者向け案内表示をしている。



松本 航輝 議員
(2年・合唱委員長)

Q 田畑の未利用地でアスパラガスの生産増収を。

町長 生産拡大、荒廃農地の防止に努めている。後継者不足で難しい点もある。

農業



佐藤 一真 議員
(2年・生活委員長)

Q 自然災害や獣被害時の補助や支援は。

町長 一時借入金の利子補給。被害防止の技術指導。獣被害の対策説明会や電気柵設置の補助を行っている。



小野 寺達也 議員
(2年・厚生委員長)

Q 給食食材に、独自の農業基準値はあるか。

教長 国の基準値に基づいているので、町独自の設定はない。

郷土の良さを再発見 1月12日、中央生涯教育センターにおいて第4回金ケ崎町郷土カルタ選手権大会が開催されました。各地区の予選を勝ち抜いた児童が練習の成果を発揮し、郷土理解と地域の誇りをかけて熱戦を繰り広げました。

町民の安全を守る 1月11日、金ケ崎町消防出初め式が行われました。役場前をスタートし本町通りから文化体育館へ各分団の消防車、団員、協力隊員が整然と行進しました。町民の安全を守る気概に溢れた出初め式でした。日頃の活動、本当にご苦労さまです。

「励まし制度」前提の子ども育成条例は疑問

教育長 — 町全体で取り組むために必要

問 子ども、家庭、学校、地域に重大な影響を与える条例を、広く町民の意見を聞くこともなく提案から2週間程度で制定することは疑問である。「6年生全員に賞状・メダルを授与し励ます」という取り組みは、具体的な対価がないと努力しない子を育成する危険があり、教育の邪道であると考えます。

答 町の主要政策に位置づけ、町民に関心を持ってもらう、将来の継続実施を担保するために条例は必要。全員を励ますことにより児童は自信を持って生活するようになり、学力・体力向上にも必ず資することになる。町長ではなく教育委員会が「励ます」こととする。

問 国は、消費税増税の理由の1つに社会保障制度の充実をあげた。しかし、介護保険制度を見ると、要支援を介護保険サービスから外し別事業に移行する、要介護度2以下は

国の介護保険制度への見解は

町長 制度継続担保のため、やむを得ないと考える。低所得者の負担軽減のため公費投入することは評価できる。

問 国は、消費増税の理由の1つに社会保障制度の充実をあげた。しかし、介護保険制度を見ると、要支援を介護保険サービスから外し別事業に移行する、要介護度2以下は



介護はいらん! まだまだ元気じゃ

特養開設事業者の応募状況は

問 町は、小規模地域密着型特養事業者を募集した。その結果はどうだったか。

答 2つの事業者の応募があった。3月中にヒアリングを実施し、事業者を決定する予定である。

国保の引き下げを

問 26年度末に基金は5000万円になる。一世帯当たり1万円下げても黒字になると考える。

答 住民医療給付費、国・県支出金がまだ確定していない。今後の財政見通しを調査し検討する。

介護施設の内部留保は

問 国は、月1万2000円の介護職員処遇改善加算を除けば4・48%も介護報酬を引き下げる。その理由として介護事業者の内部留保増加をあげている。町内事業者はどうなっているか。

町長 国の調査結果は一事業業者当たり平均3億1000万円である。町内事業者の平均は1億6600万円である。

国保の基金に関する

問 町は、「国保の基金は、保険給付費の5%相当額以上が望ましい」という国の指導を国保税引き下げできない理由にあげている。いつまでこのような指導があったのか。

町長 平成12年度まではあった。13年度以降は具体的な数値の提示はないが、指導で踏襲されている。

議論白熱!

11議員が町政を質す

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人1時間。議論の様子は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。(1人1ページ)

なお、今議会の傍聴者は25人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
11	阿部 隆一	①子ども条例は制定すべきでない ②介護保険制度充実のために ③国保税引き下げについて
12	高橋 藤宗	①観光協会の今後について ②「(仮称)児童表彰制度」について
13	高橋 奨	①家族農業を見直す ②大林城跡歴史公園の実現と活用について
14	及川みどり	①認知症 現状と対応について ②資源の再利用について ③医療展示による啓発活動について
15	梅田 敏雄	①広域連携について ②地方創生総合戦略について
16	高橋 勇喜	①金ヶ崎町の今後の農業について ②振り返って思う課題について
17	千田 力	①県立高校再編について ②町土強靱化対策について
18	巴 正市	①米価下落への対応 ②農地中間管理機構への対応 ③多面的機能支払いへの対応
19	千葉 正男	①町道荒巻・東町線について ②消防団を中核とした地域防災力の充実強化について
20	佐藤 千幸	①水と緑に囲まれた田園環境のまちづくりについて ②道路網の整備に伴う地域開発について
21	高橋 文雄	①今後の町づくりへの提案 ②土地利用について ③子ども育成条例について



あべりゅういち 阿部隆一 議員

SNS友達から、「子ども育成条例というより『大きなお世話条例』の方がしっくりと来ますね」との皮肉が寄せられた。

議員のつぶやき...

世代を越えて交流 1月20日、町老人クラブ連合会恒例の演芸大会が、南方の生きがい交流センターで開催されました。いつもながら町内の芸達者の皆さんが元気100歳をめざして唄やおどりを披露。隣の保育園児も負けじとチビッ子鬼剣舞で花を添えてくれました。子どもたちに大うけだったのが「マジックショー」会場を大いにわかせてくれました。

設立55周年 1月16日、町商工会の新年交賀会が開催され、奥州エフエム放送(株) 放送局長 佐藤孝之氏が「ラジオと防災」と題し講演が行われました。昭和35年、商工会設立以来会員として54年間活動したとして、阿部憲悦、柏智、小野寺玲子の3氏が会員功労表彰を受けました。これからも地域の商店として頑張ってください。

家族農業は守るべき

町長 — 複合経営を進める

問 昭和50年代、農家では家畜が飼育され農家収入の一部となっていた。行政や農協が押し進めた大規模化により現在の状況だ。大規模化を志した人々は失敗し畑を失い苦しんだ。推進した人達は知らぬ顔

町長 米価下落により水田単作導入など、複合経営を進める。

問 国や町の方針は法人化、企業参入の促進である。

町長 町の農政が国の方針に従わざるを得ないことは理解する。しかしながらそのために家族農業の良さを見失ってはならないと思う。日本型小規模農家は多様な収入源を求め、農家戸数を減らすことなく農村の伝統、文化を守ってきた。家族経営を志向する農家への対応は。

問 米価下落により水田単作導入など、複合経営を進める。

町長 昭和50年代、農家では家畜が飼育され農家収入の一部となっていた。行政や農協が押し進めた大規模化により現在の状況だ。大規模化を志した人々は失敗し畑を失い苦しんだ。推進した人達は知らぬ顔

町長 米価下落により水田単作導入など、複合経営を進める。

問 米価下落により水田単作導入など、複合経営を進める。



たかはし すすむ
高橋 奨 議員



中世のロマンをかきたてる 大林城跡からの眺望

大林城跡歴史公園の実現と活用について

問 金ヶ崎町指定史跡、大林城は中世の山城で約400年間胆沢地方を治めた中心地として栄えた。鳥海柵安倍氏1300年、奥州平泉藤原氏三代100年、大林城柏山氏治政400年へと続く歴史の流れを活用して、交流人口の増加を図るべきだ。そのためには大林城跡の公園実現が必要だ。

町長 平成4年から町の三大歴史公園として整備している。出来ていない理由は、伝建群や鳥海柵の施設整備をしているので出来ないが、いずれは整備するという意志については全く変わっていない。

農業の魅力は経営者であり耕作者であること。それを分離することは農業する魅力をうばい後継者も失う。

議員のつぶやき...



たか はし ふじむね
高橋藤宗 議員

商売は商品と宣伝。観光は資源とPR。選択と集中の時代、やると決めたらきっちりやらないと。中途半端が一番無駄。

議員のつぶやき...

観光協会運営責任の所在は

町長 — 第一義的な責任は町にある

問 金ヶ崎町観光協会は、平成8年から現在まで、金ヶ崎町商工会と業務委託契約を締結している。しかし、専属の職員がいないため、イベントの開催のみに特化した事業を行うのが精一杯であった。3年前から、国の補助金を活用した臨時職員を3名雇用し、ようやく観光協会の本質である「観光PR」が業務として行えるようになった。

町長 今後の在り方、取り組み等、第10次総合発展計画で検討する。

問 観光協会は公益性が非常に高い。任意団体になったとはいえ、その公益性を保つためには行政の介入が不可欠である。よって第一義的責任は町にあるのではないか。

町長 第一義的責任は、町にもあると考えている。

町長 補助金の増額は考えていないが、観光産業強化支援補助金を新たに計上

町長 第一義的責任は、町にもあると考えている。



観光資源もPR次第(金ヶ崎要害歴史館)

問 (仮称)児童表彰制度の目的は、「地域ぐるみで子どもを育てる」であり、その手段が「町長による全員表彰」である。目的には大いに賛同するが、手段について疑問である。「褒める」と「表彰」はイコールではない。全員表彰に固執する理由は。

全員表彰に固執する理由は

町長 「児童顕彰制度」により、新年交賀会で表彰される子どもたちのみならず、日の当たらない子どもにも光をあて、すべての子どもたちの努力を認め励ますため、全員を表彰する。

る事変わった。表彰主体者は。現在の素案では、教育委員長となる。

問 町長表彰はなくなり、教育委員会内で表彰す



たくましく育つ かねがさきっ子

やるじゃ 農林課

金ヶ崎の冬の風物詩、おらが村の永岡蘇民祭見物に出かけました。呼び物の蘇民袋争奪戦には、役場農林課の若手職員も。下帯姿で冷水をあびせられながらも必死に肉弾戦。女子職員からの黄色い声援を受けながら大いに会場をわかせてくれました。農家のみならず猫の目農政に翻弄される職員たち。日頃の「ウッパン」は、はたして晴れたのでしょうか。農林課長の採点は、さて何点？

議会トピックス①

認知症住みなれた地で安全安心に

町長—徘徊SOSネットワーク事業を立ち上げる

問 認知症は誰にも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上の4人に1人にその症状があるといわれる。金ヶ崎町の認知症の現状と予防・支援の対応は。

町長 平成27年1月末現在で要介護認定者766人中、認知症の何らかの症状が見られる人は528人いる。認知症の人が、安全に住みなれた地域で暮ら続けられるよう、専門医による相談や家族介護教室、認知症サポーターの養成などに取り組んでいる。平成27年度に徘徊SOSネットワークを立ち上げ、家族の負担軽減につなげていく。

問 町で徘徊の事例は何件か。徘徊SOSネットワーク事業の概要は。



みんなで楽しく（JAいわてふるさとデイサービスセンター）

町長 平成26年度は6件、徘徊SOSネットワークの事例があった。徘徊SOSネットワーク

は、徘徊のおそれのある人を事前に登録してもらい、靴や持ち物に通し番号のついたステッカーを貼る。行方不明になった場合、発見されると、その番号により家族に連絡が取れるというもの。

小型家電のリサイクルの取り組みを

問 使用済みの小型家電（携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機等）には鉄や銅、金、銀、レアメタルなどの鉱物が含まれている。自治体や認定業者が回収し、有用な金属などをリサイクルする小型家電リサイ

町長 徘徊のおそれのある人を事前に登録してもらい、靴や持ち物に通し番号のついたステッカーを貼る。行方不明になった場合、発見されると、その番号により家族に連絡が取れるというもの。

医療展示で啓発活動を

問 病気の早期発見・早期治療のため、検診の大切さ、予防の取り組みを知ることが必要だ。町ではどのように取り組んでいるか。

町長 がん検診の受診勧奨・脳卒中予防・自殺予防のポスター掲示やリーフレットの全戸配布、健康づくり教室の開催。広報やホームページなどで啓発を行っている。

問 各地区の文化祭や、学校の文化祭などに、医師会の協力を得て、医療展示による啓発活動を行っているか。

町長 医療啓発は重要である。意識の乏しさが偏見を生む。医療展示は多くの人に意識を高めてもらうためにも有効だ。展示スペースの問題等もあるが、関係機関と協議しながら進めていく。

毎日、「あれ！どこだった。何だった。」のくり返しはわたしだけ？あなたもでしょう。みんなで笑って、語って、くらす事が一番。

議員のつぶやき...

おいかわ 及川みどり 議員

広域連携の目的は何か

町長—地方創生や定住自立圏形成の取り組み

問 当町と奥州市や北上市、西和賀町、遠野市、花巻市との間で広域連携の勉強会が開かれた。どのような目的で開催されたのか。

町長 今後も続く人口減少を見据え、行政コストの抑制や住民サービスの維持向上に対応するため、広域連携による有効性の検討が必要と判断した。当初は近隣2市2町で進めることになった。連携可能事業などの洗い出しを進める中で、国の施策である定住自立圏構想を優先的に取り組むのが有効と認められた。

問 区域が広がっている奥州市や北上市とは連携の幅も広いと考えるが、それ以外の市町とは連携の可能性は少ないのではないか。

町長 この勉強会は継続して開かれ、定住自立圏形

地方創生総合戦略について

問 国は地方創生総合戦略「まち・ひと・しごと」総合戦略を定め、市町村にも地方版総合戦略の策定を求めている。町長はこれをどう受け止めているか。地方創生を進める基本的な考えは、少子高齢

町長 国は地方創生総合戦略「まち・ひと・しごと」総合戦略を定め、市町村にも地方版総合戦略の策定を求めている。町長はこれをどう受け止めているか。地方創生を進める基本的な考えは、少子高齢



和光のこの地まで地方創生がおよぶか

問 国の進め方から推量すると地方自治の姿を変えて道州制の実現に道を開こうとCONCEPTはないか。

町長 国は意図的に国の形を変えようとしている。道州制も含めて地方創生の取り組みにそれは表れていると考えられる。基礎的自治体の将来の在り方とこの国のかたち、持続可能な自治体の模索という地方生き残りをかけて取り組んでいかなければならない。

化による人口減少、現在の年齢構成とは異なる住民構成が現れること、U・I・J・タインを含めた若者の定住対

策を雇用場の確保を含め、広域で連携して取り組んでいくこと等である。

うめだとしお 梅田敏雄 議員

国の進め方に警戒しつつ、地方創生に取り込むというスタンスが大切なのでは？

議員のつぶやき...

増額補正後 雪降らず 2月6日、臨時議会で26年度除排雪業務委託の補正予算可決。2億3086万円となりました。四国、九州でも被害が多発した今冬の雪。出足の早さにびっくりし、年明けのグズ雪に悩まされた結果の補正予算でした。ちなみに、25年度決算は1億8400万円でした。

女性会員は2名 金ヶ崎町議会OB会の総会が毎年3月に開催されています。会員は現在45名、会員で議長の就任が一番早い人は、畠山勉さんです。昭和35年といえますから、半世紀前にさかのぼります。一方、女性の会員は残念ながら佐藤キヨ子さん、阿部洋子さんの2名です。故人では石母田ハツミさんも議員でした。さてこれからの時代は？

金ヶ崎高校存続の危機 方策は

町長 — 有為な人材輩出校 存続に全力

農業が成り立たなければ、町政も成り立たぬ

町長 — 農業所得向上めざす策を検討する

問 今の農業の実態をどう感じ、金ヶ崎町農業をどのように育成し所得の安定につなげていくのか。

町長 認定農業者、集落営農、地域農業マスタープランに位置付けられている担い手を中心とした担い手対策、圃場整備、機械導入の基盤整備対策、農産物のPR活動、販売拡大対策を実践し、このような活動を大きく進め農家所得の安定に繋げて行かなければと感じている。

町長 当町は良質米の生産地として推進してきている。良質米の低コスト生産推進、園芸を推奨し、農業所得向上を図っていく。地域にあつた作物を推奨し各種施策で地域支援し、産地化していく。また、西部地区は酪農生産地帯で地域酪農を中心とした、各種施策で積極的に支援していく。

問 高齢化が進み、将来的に後継者不足で、耕作放棄地の増大が懸念されるが、今後の対応策は。

町長 平成25年度耕作放棄地は15・1haである。国は農地を守るため、農地中間管理事業を開始。県では農業公社へ農地管理機構を指定、農地中間管理事業は

農地の貸し借りを仲介する業務で、機構が農地を借りすることで所有農地を荒らしていく状況を減らしていきたい。

問 ブランド商品の開発、製造の今後の取り組み状況と、アスパラ生産販売拡大状況について。

町長 アスパラガスを重点園芸品目と位置付けし、農業者の所得向上と町のブランド化に向け日々努力している。東京卸市場と連携を図り、高い製品出荷をおこなっている。平成27年に向けてアスパラガス栽培研究会を中心に栽培体系の確立、生産技術の確立にも取り組んでいる。



所得安定のため 頑張らなければ (ピーマン農家)



たかはし ゆうき 高橋勇喜 議員

これからの農業は様々な助成制度を活用するべし。個人の経営はもう限界。

議員のつぶやき...

問 県教委は、1月末に、高校教育の基本的方向(改訂案)を公表した。この基準によると金ヶ崎高校(以下、金高)は、再編の波に襲われる可能性がある。今から対応策が必要と思うが考えは。

町長 金高は、66年の歴史を持ち、7700人の卒業生を送り出している。本町にとって、欠くことのできない大きな存在である。有為な人材の育成、輩出の実績のある金高は存続させていきたい。

金中との連携を深め、進学を希望する生徒にとって、魅力ある学校づくりをお願いしたい。

教員 金中からの進学者は20〜30人位で、新入生の約20%である。中高連携の学力プロジェクトや体験入学などで、金中生に金高への理解を深めさせている。



66年の歴史 地域の宝 金ヶ崎高校

問 今後、県教委に金高存続を働きかけていく。英語教育の町として、金高生の英検受験に町から補助はできないか。

町長 中学生には2分の1補助している。検討課題である。

教員 他町村では、中高一貫校での事例はある。

町土強靱化対策 道路、橋は大丈夫か

問 本町における公共インフラ、町有以外の公共インフラについて、安全性の観点から整備されているか。

町長 上水道管更新は、漏水事故の多い和光地区を3年程度で実施。順次老朽管更新を行う。

下水道・農集配管は、長寿命化調査後、実施計画を策定。策定に基づき更新を行う。

橋梁は、平成26年補修を実施。

国道4号は、三ヶ尻交差点改良工事中。平成27年完成予定。県道胆沢・金ヶ崎線の黒沢〜永岡小間は、拡幅整備予定である。

問 国道4号拡幅は、強靱化対策事業に入らないのか。

町長 この事業は、現有施設の強靱化・長寿命化を対象とするもので、新規拡幅改良事業は対象としない。

問 将来、町財政を圧迫すると思われる、町道南花沢・前野線を県道昇格できないか。

町長 いろいろ難しい面がある。町長、さまざまな視点から検討していく必要がある。

ちだ つとむ 千田 力 議員

金高存続は全町民の願い。地元から多くの入学を送ろう。同窓会を中心に、応援の輪を広げよう。

議員のつぶやき...

紙は重し 2月12日広報編集特別委員会の研修で、八戸のデーリー東北新聞社を訪問。(関連記事22ページ) 昭和20年12月の創刊で70周年。八戸地方を中心に岩手県北洋野町など約10万3000部の新聞を発行しています。社屋を見学、新聞用紙は巨大なトイレットペーパーのようで「巻き取り」と呼ばれ長さ1万3650m、重さ約1t、1ヶ月に370本も使うとか。新聞づくりに携わる人々のご苦労を学んできました。

大迫はボルドーに似たり 奥州・金ヶ崎の企業人が集う「アテルイの里 胆江工業クラブ」の新春講演会。花巻市大迫町のエーデルワイン藤館昌弘社長のお話から。キャサリン・アイオン (昭和22~23年) 台風被害の復興対策として当時の國分知事がブドウ栽培を奨励。初めてのワイン (昭和37年) の試飲会では、淡くて酸っぱくて不味いと散々な評価だったとか。それが今では世界のエーデルワインに。「マッサン」のワイン版かな?

完成はいつ 町道荒巻・東町線

町長 — 10月末完成を目指す

問 南は起点となる工業団地道路、北は東町団地北側道、中間では下平沢会館付近が、十字路交差点となる。

また、道路幅の関係から優先道路が従来と反対になる場所があるが、信号機の

町長 現在工事を急ぎ進めている。電柱・電柱柱移転の協議に時間を要した事や被災地復興の関係でコンクリート2次製品の納入が遅れ、思うように進んでいない。請負業者や関係機関との調整を図り、10月末には完成したいと考えている。

問 町道荒巻・東町線は、岩手中部工業団地から北上部工業団地と北上・金ヶ崎インターチェンジへのアクセス道路として現在本格的に工事が進められているが、通行出来るのはいつごろか。

町長 設置に向けた対応はどのようになっているか。危険性を認識していることから、公安委員会に信号機の早期設置を要望して行くとともに、交差点の手前から安全標識や看板を設置するなど、注意喚起を図りたい。



米の安定生産をめざし もみがらを活用し 暗きよ排水工事



工事が進む東町・荒巻線

町長 交差点での事故発生が危ぶまれることから、公安委員会からの許可が下りないため、通行することは出来ない。

問 工事が完了している第一工区（東町団地南側）の仮通行は出来ないか。

町長 26年12月現在、出し手38戸、受け手57戸600ha、成約11件61haとなっている。機構が借り入れ後に貸し出しが決まるまで行う草刈りなどの管理業務について、体制が整わないなどを理由に、受け手のめどが立っていない案件しか事業対象にできない状況となっております。希望があっても農地を貸し出せない農家が存在している。

問 農地中間管理機構の課題は

町長 今後とも意欲を持って稲作経営を続けていくためには、「資材費の低減」と、農地中間管理機構を利用した規模拡大による「農業機械費」の低減を図らなければならぬ。機構への取り組み状況は、26年12月現在、出し手38戸、受け手57戸600ha、成約11件61haとなっている。

問 高年齢化や後継者不在により、耕作放棄地の拡大にも関係してくるので機構に対し、本来の制度通り積極的に借り受け、農地を維持管理しながら貸付先との調整を行うよう働き掛け、農地の集積を進めていく。

町長 従来の農地・水・保全支払制度に変わる、農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動に助成する制度である。26年度は20組織が活動している。今後も取り組みを希望する地域を国・県に要望していく。

米価下落への対応は

町長 — 複合経営で所得確保

問 米価の下落は大規模稲作経営や、集落営農など担い手に深刻な打撃を与えた。農村集落の多くは水田営農を基本に成り立っており、将来展望できる水田営農政策を、生産現場に示すことが急務である。

町長 所得安定対策が見直されるなど先行不透明な状況にあり、稲作経営だけでは厳しいと考える。稲作に園芸などを加え経営の複合化を図り、農業所得を得る体制を支援していく。

町長 各種補助金を受けるた課長めには、担い手になる必要があるため認定農業者は年々増えている。5年後の農業所得が400万円に



ともえ まさいち 巴 正市 議員

国は大規模化を進めるが地域を守るためには、小規模農家こそが主役となる農政でなければならない。

議員のつぶやき...

多面的機能 支払制度

問 日本型直接支払制度として、多面的機能支払制度が導入された。当町の取り組みは。

町長 隣接する人、いなければ地区内の人が優先される。地域が望まなければ、他地域から来るとの規模拡大は難しくなると思う。

町長 従来の農地・水・保全支払制度に変わる、農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動に助成する制度である。26年度は20組織が活動している。今後も取り組みを希望する地域を国・県に要望していく。

消防団を中核とした 地域防災力の強化策は

問 阪神淡路大震災や東日本大震災では、未曾有の被害が発生し、多くの方々が犠牲となられた。今後、一人一人の生命を守るためにはどうするか、これからのやり方を明らかにし、皆でこれを実行していくことが目的で平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行された。

自主防災組織については、全行政区に設置しているが、活動にはバラツキがある。毎年リーダー研修を実施している。今年7月には当町を会場に、若手総合防災訓練が予定されており、自主防災組織の皆さまにも参加していただき、防災に対する意識高揚を図っていききたい。

町長 これまで屯所建設やポンプ更新、発電機、防火衣の他、各地区センターに防災倉庫を設置した。本年度は消防団デジタル無線を導入予定であり、更に雨具の配備も考えていきたい。

本法律の施行を受け、本町の考えは、公安委員会様、児童・生徒通学交差点です。供用開始と共に信号機をお願いします。

ちばまさお 千葉正男 議員

公安委員会様、児童・生徒通学交差点です。供用開始と共に信号機をお願いします。

議員のつぶやき...

「伝えたい」意欲が大事 2月20日に行われた町議会議員会定期総会の席上で、広報コンクールの表彰があり、議会だよりかねがさき(第112号)が昨年度につき最高位の「特選」を受賞しました。審査会の講評では、表紙の「カムバック双子ちゃん」シリーズは、町民にとって親しみがある良い企画、◎「まちの声」など精力的な取材で町民の関心を引き記事になっている。◎メッセージ性の高い見出しが好評。おごらずさらに精進です。

真冬の花火も見事 2月14日、風が強く雪が舞う冬本番の寒いなか、金ヶ崎冬まつりが金ヶ崎駅前イベント広場で開催されました。鏡開きでオープンミニライブや県外からの参加もあった。わんわんファッションショー等が行われ、花火大会で打ち上げとなった。翌日森山総合公園で予定されていた、全国犬ぞりフェスティバルは雪不足で中止となりました。やっぱり犬ぞりは和光かな。

攻めの環境政策を

町長―造林や間伐等による森林の適切な管理を促進

問 町環境基本条例には、「今を生きる我々は、恵み豊かな環境の恵沢を将来世代に引き継ぐ責務がある。」と謳っている。快適に暮らし続けられる町づくりをどのように進めるか。

町長 森林等の水源涵養機能の維持向上を進めて健全な水環境の確保を図るとともに、希少動植物の生息環境の保全に努める。

問 主要道路沿線の覆いかぶさり樹木の伐採を進め、眺望の確保に努めるべきだ。

町長 町予算に問わず東北電力の協力等、多様な方策を導入しながら、眺望と併せて安全性と利便性の確保に努める。

問 今まさに地域間競争、市町村間競争の真つただ中にある。環境にやさしい産業育成支援の一環として、北日本で先陣を切って燃料電池車に対応したインフラ整備を進めるべきではないか。

町長 東北通商産業局、トヨタ自動車東日本㈱関係者と話をしている。燃料電池の普及には安定性とコスト

トの面で少し時間がかかるようだ。まずは、燃料電池車「みらい」に試乗してみたい。



これが「みらい」

道路網の整備に伴う面的地域開発を

問 国道4号の交差点改良が進み、生活の利便性と流通環境が向上すると期待されている。単に道路整備に終わることなく、これを契機に町北部の土地利用について青写真づくりに取り組むべきではないか。

町長 今のところ当該地域の開発の予定はない。民間事業者が開発する場合、町として相談や支援をしよう。

問 町土地開発公社が解散した今、行政の意を体し、機動性を発揮して開発

まち、ひと、しごと創生法による地方版総合発展計画を検討する中で全町的に開発を採ろう。



佐藤千幸 議員

某本社、学園。三度、後塵を拝する事がないように…。

議員のつぶやき…

まちづくりの展望は 町長―企業誘致を継続する

問 今、平泉藤原文化の栄華を支えた、日本海交易が始まるようになっている。自立の町を標榜するならば、企業誘致に力を入れ、雇用の場を作り、定住化を図るべきである。

町長 中部工業団地内の8・5町歩の土地に、企業が進出できるようにするべきだ。環境の優位性と発展的

町長 未来に向けての対応など、行政として前向きに支援協力しよう。中部工業団地の土地は、企業訪問でのPRや相談など、引き続き誘致活動に努め、発展する町づくりを進めよう。

土地の利用方法は

問 花憩庵の南側の土地が全農から寄付されるとの事である。この土地は今後どのように利用されるのか。また、隣に接する土地



花憩庵前のみなし道路

はみなし道路となつている。道路とするべきだ。

町長 当該土地は、駅前市場として活用したい。みなし道路は創生会の好意により使用している。今後の駅周辺の土地利用計画の中で検討しよう。

子ども育成条例は理解できない

問 いかなる美辞麗句を並べても、目的がはっきりしない、理念が中心の条例は理解できない。チャレンジシートの導入は、学校の先生の悲鳴が聞こえてくるようだ。教育長は、子どもや親に管理社会を強要するのかが、子どもたちにとって、成長する中で自由に寛容性を身につけることは大事な生き方、考え方ではないか。

子どもたちの成長を家庭、地域、学校が連携を図りながら見守ることにあり、一人ひとりの良さを知ることが出来る。決して、子どもや親に管理社会を強要するものではないことを、理解いただきたい。

警長 学校の先生方は大変多忙で、悲鳴を上げるであらうこの事は同感である。あらゆる面で指導や対応が求められる、家庭は学校に対する依存度が年々高くなってきている。



高橋文雄 議員

感情や愛情のない状況の中で人を褒めたり怒ったりする行為は、まったくもって無責任であり人の利にあらず。

議員のつぶやき…



交差点改良工事中の国道4号

賛否両論

2月26日、議員全員協議会において、議案に対する賛否の個人名を、議会だよりに掲載すべきかを協議しました。他市町村では掲載している広報誌もあり、今後検討を重ねていくこととしました。現在可否の分かれた案件は、賛成○・反対△と表記しています。

町民の皆さんからも信頼

2月27日、岩手県町村監査委員協議会の定期総会において、高橋順一代表監査委員が同協議会から永年勤続表彰されました。また、同協議会の副会長に選任されました。おめでとうございます。高橋さんは大変優れた識見を持ち、常に公正不偏の立場から監査に当たっておられます。

議会トピックス⑩

議会トピックス⑨

生かす

学びを

議会運営委員会

1月21・22日の2日間、福島県相馬郡新地町を訪問し、常任委員会の再編と東日本大震災にかかる特別委員会の活動や復興について視察研修しました。

少数精鋭で町政を厳しくチェック

平成17年、国・県が推進した三位一体改革により、行政経費の削減等が重要視される中、議会は財政問題調査特別委員会を設置し、延べ6日間の調査検討を経て議員定数を16から13に削減しました。

議員数が減ったため、それまでの3常任委員会を、総務文教・産業厚生・2常任委員会に改めました。精力的に所管事務の調査を行っており、閉会中に、それぞれの常任委員会が所管するすべての担当課に調査を申し入れ、月3日のペースで予算や事務の執行状況などをチェックしています。また予算審査の方法は、実質7日間の予定を組み、発言は自由質疑を取り、各課ごとに審査を行う方法で濃密な予算審査を行っています。



説明に熱心に聞き入る委員

町民一体となった復興への取り組み

平成23年3月11日大地震発生後、議会は速やかに大震災災害対策特別委員会を設置し、被害状況の把握に取り組んでいました。同年12月に災害対策から復興対策に切り替え、国や県の支援等、要望活動や陳情など1日も早い復興に向けた活動を行っています。



被害地域を視察

広報編集特別委員会

2月12日・13日の2日間、青森県八戸市と三沢市において視察研修をしました。

八戸市のデーリー東北新聞社は、昭和20年に「デーリー東北」を創刊し、現在全国に15支局、総局があり、隣接する岩手県には盛岡、久慈、二戸に支局があります。地域に密着した取材・営業活動を続け、常に技術革新に取り組んでいるということでした。

初めに、新聞はどうやってつくられるかな?と、社内に案内していただきました。

取材-記者が各地に出かけ、政治、経済、事件、地域情報などを集めます。人はほとんど出払っています。

編集-紙面構成や写真の割り振りなどを行います。時間との戦いです。

印刷-印刷からたたみ方、仕分けまですべて機械がやってくれます。ただ感心するばかり。

販売店を経由して、読者の元へ配達されます。



編集室で真剣そのもの

続いて、編集次長の吉田晃氏より、「議会だより112号・113号」をクリニックしていただきました。

開口一番、「これが議会広報紙かとビックリした。熱意、意欲、情熱を感じる。」続けて「逆取材をしたい。新聞社として刺激を受けた。」とお褒めの言葉をいただきました。

アドバイスとして、以下のことを言われました。
○議案に対しての賛成者・反対者の氏名や一人ひとりの考えを載せてもよいのではないか。
○112号20ページ。学童保育にもっと力を、とあるのは、誰に対してなのか。もっと踏み込んでよいのでは。

最後に「自分の担当記事『デスク日誌』に議会広報委員会のことを書かせてもらう」と言われ、大変ありがたく、今までの編集の苦労が吹き飛ぶ研修となりました。

デーリー東北の皆さんには、感謝申し上げます。三沢市では、三沢航空科学館を視察しました。

※デスク日誌は、23ページに掲載しています。

有線放送電話線、電柱の撤去

町長 — まだ1600本残っている

平成23年12月定例会

問 有線放送事業は昭和46年に開始され電話としての活用を始め議会中継や独自のプログラム放送で多くの町民に支持された。平成10年、その役割を終えて施設の一部分は防災有線放送として活用された。平成23年防災無線放送設置により電柱、電話線は完全にその役割を終えた。早急に撤去すべきだ。

町長 防災放送で使用していた電柱は27路線で1700本あり、現在までの撤

去本数は100本余りである。撤去費用は3000万円から5000万円かかる。

問 電柱や電話線は農作業の障害となることももちろん、放置すれば倒壊のおそれがある。撤去の計画はあるか。長期にわたる場合は敷地料支払いを考慮すべきだ。

町長 現在計画案はないが、長期になると思う。住民の協力を得て少ない予算でできないか工夫する。

その後

年度内にすべて撤去

現在、防災放送で使用していた防災有線電柱が903本残っております。平成27年度にこれらすべての防災有線電柱の撤去を行います。田畑等に設置してある防災有線電柱については、農作業に支障がないよう農閑期に撤去作業を進めます。(生活環境課)

平成24年3月定例会

問 防災有線撤去工事はどのものか。300万円程度の予算では、全部撤去するのは難しいのではないか。できれば予算を多くとり、速やかに撤去すべきだ。

町長 前年比、大幅に予算措置したところだ。今1600本の電柱が残っているが、傾いたりして危険なもの、通行上危険な箇所を優先して工事を進めたい。

デスク日誌

先日、岩手県・金ケ崎町議会の広報編集特別委員会の皆さんに話を伺う機会があった。長年発行する議会広報誌が昨年度、全国最優秀賞に輝いたという。広報誌はA4判で20〜24頁ほど。ボリュームもさることながら充実した誌面に圧倒される。一般質問や反対、賛成討論、採決の結果に加え、ある問題について以前の質疑を再録し、現状はどうなった

地方議会の存在感

かを検証する企画も。町政のチェック役という視点が明確で、町民の声が多く登場するのも好感を持った。企画から取材、執筆まで議員が行う。「いい町づくりの役に立てば」と伊藤雅章議長。こんな形で有権者との距離を縮めるのも面白いな、と感じ入った。2月は議会の季節。ことは統一地方選挙も控える。自分の街や県の議会は、どんな活動をしていたっけ。あらためて考えてみる。(編集本部・吉田晃)

デーリー東北 2月9日付

どうなった あの提言

定例会一般質問から



議会だよりかねがさきは、町民に分かりやすく、ありのままに伝えることをモットーに、議員が作成しています。皆さんのご協力に感謝申し上げ、より親しまれる議会だよりを発行していきます。



議会だより 全国コンクール10年連続入賞 県コンクール2年連続特選

若い議員には30万円

議員任期最後の予算議会が無事終了。今、地方議員のなり手が少ない実態が報道されています。長崎県の自治体では、議員報酬が18万円。ただし50歳以下の若い議員には30万円の報酬を支給し、議員の確保をめざすとか。町政に多様な住民の声を届けるためにも、女性や若い議員の台頭が望まれるところ。「出たい人より出したい人」を 来年2月は4年に一度の改選期となります。

予算審査は がっちり

3月3日、3月議会予算審査特別委員会の及川みどり委員長、佐藤千幸副委員長を励ます会をみどりの郷で行いました。総額133億円超の新年度予算。攻める議員、受ける町当局、采配を振る委員長。すべて町民のためにとの思いから。態勢は万端です。

ソフトボールを 追いかけて



おい かわ よし ろう
及 川 芳 郎 さん
(南方)

男女問わず小学生からハイシニアまで楽しめるソフトボールに携わって30年。転勤で二ツ森小学校に赴任した時、先輩から引き継いだのが最初の出会いでした。その頃の二ツ森小学校は強豪チームで、私は指導より子どもたちと一緒に遊んだような気がします。永岡小学校と西小学校で指導と審判を掛け持ちしてきましたが、転勤と同時に審判に専念するようになりました。ある大会で他県の派遣審判長から、「審判上達の特效薬はない。多くの試合を経験することが上達の早道だ。」と指導を受けました。

平成11年にインターハイが金ケ崎と石鳥谷で開催され、審判することによって大きな励みになりました。今では県内各地に沢山の仲間ができて、会うたびにいつもの顔ぶれだなあと話し合いながら、開会式前の楽しい情報交換に余念がありません。

球場ごとの確認や試合前の最終確認など厳しく行っています。試合の善し悪しは審判で決まるとも言われますので、責任は重大ですが達成感も得られます。

ソフトボールに携わる者として、これからも協力していきたいと思っています。



大会運営を支えるスタッフとともに
(中列右から3人目)

春風にのって 夢も大きく

カムハツツ双子ちゃん 表紙の写真によせて

今回の双子ちゃんは、西根鎌田の及川千晴ちゃんと千紘ちゃん。

『子ども達から、いつも元気をもらっています。学校であったことなどを、かわるがわる話してくれるひとときが楽しい毎日です。』

大きくなって、かぜもあまりひかなくなりました。

快食・快眠で丈夫な体をつくってほしいです。

将来は優しい心を持った人になってほしいと願っています。』

と、お母さんからのメッセージです。千晴ちゃんの将来の夢は、お菓子を作

ってカフェをひらこうと。

千紘ちゃんは、服のデザイナーになりたいとのこと。



この春から6年生
千紘ちゃん 千晴ちゃん

編集日記

我々議員の任期も残すところ、あと二年弱となりました。議会広報の編集に携わって十数年、あつという間の時間だったなあと回想しています。主に一般質問や写真を担当しました。表紙の双子ちゃんの撮影には四苦八苦。片方がじつとしていれば片方が動き回るし…。しかしながら大きく成長した姿を見て、喜びもまたひとしおといったところで。 (千葉和美)

多くの皆様の積極的なご協力を得て写真担当をしています。紙面を借りてあらためて御礼申し上げます。議会だよりは、議会活動の反映であると思えます。今回は、議長を除いて14名中11名の議員が一般質問を行いましたので、内容のある議会だよりになっていると思います。一読頂ければ幸いです。 (阿部隆一)

議会広報編集特別委員会 私たちが編集しました

- | | |
|------|--------------|
| 議長 | 伊藤 雅章(発行責任者) |
| 委員長 | 及川みどり |
| 副委員長 | 山路 正悟 |
| 委員 | 千葉 和美 |
| 委員 | 阿部 隆一 |
| 委員 | 巴 正市 |
| 委員 | 佐藤 千幸 |
| 委員 | 高橋 勇喜 |

次号のお知らせ

次号(第115号)は平成27年7月発行予定です。6月議会定例会の内容を中心にお伝えいたします。